

区分
道路(市街地)

R3年度完成	事業名：社会資本整備総合交付金 (都) 本町線
--------	-------------------------

所属名	桐生土木事務所
-----	---------

1. 事業概要

- 【路線名】(都)3.4.6号 本町線
- 【箇所】桐生市広沢町二丁目地内
- 【概要】道路改良工 L=108m
- 電線共同溝工 L=240m
- シェルター設置工 A=137.5m²
- 道路照明設置工 一式
- 案内サイン設置工 一式



駅前広場の安全性、利便性向上のため、道路や歩道を整備したものである。

2. 現場の特徴【ステップ1】

- ・事業箇所の新桐生駅(東武桐生線)は、桐生市の玄関口として、位置付けられている。
- ・夜間は照明がほとんどなく、暗くて危険である。

3. 事業目的【ステップ2】

- ①現場から何を見せるのか
 - ・駅舎と駅前広場が調和した景観
 - ・昼間の景観だけではなく、夕方から夜の景観も優れた駅前広場空間
- ②どこから現場自体を見せるのか
 - ・歩行者、ドライバー、新桐生駅利用者
- ③目指すべき目標像
 - ・まちの玄関口としてのシンボル性向上
 - ・地元住民や若者が利用したくなる駅前広場空間整備
 - ・来訪者と市民が安全で快適に利用できる駅前広場空間整備

4. 専門家の助言の有無【ステップ4】 (有)・無)

- ・事業完了後の事業地周辺における将来的な景観形成も含めて計画すべきと提言があった。

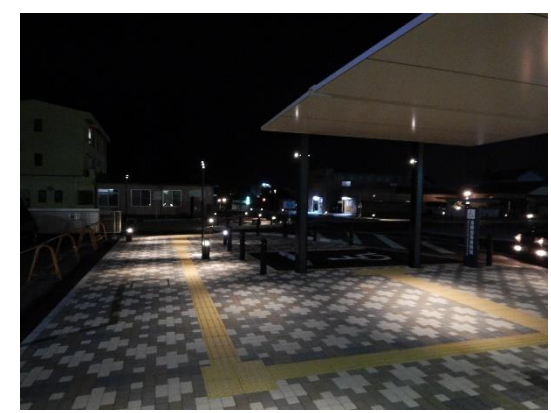
5. 配慮内容【ステップ3】 (完成) 整備前後の写真やコメント等)、計画済・計画中 (想定される内容) >



<色合い>
駅舎と駅前広場の調和を演出するため、シェルター支柱、道路照明、案内サイン等の色を緑青色で統一



<インターロッキングの模様>
(左) 駅の出入り口には、桐生市の象徴である「のこぎり屋根」をイメージ
(右) 桐生市の主要産業である織物「羅」と「朱子織」をイメージ



<道路照明>
スポット照明を採用し、必要な箇所に効率よく照度を確保
統一したあたたかな光を境界部に配置し、安全で安心感のあるあかりを演出